令和 6 年度　年間授業計画　教科 国語　科目 古典

教　科： 国語　　科　目： 古典　　単位数： 3 単位

対象学年組： 第 2 学年

教科担当者：	A組	赤塚　翔	B組	深水　美賀子	C組	小曽根　豪	D組	赤塚　翔	E組	深水　美賀子	F組	小曽根　豪	G組	小曽根　豪
使用教科書：	高等学校 精選 古典探究（第一学習社）													

教科　国語　の目標：

【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について，その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め，思考力や想像力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに，言語感覚を磨き，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目　古典　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	領域 書	領域 読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単　元 1　説話　古今著聞集	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	9
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	動詞・助動詞の意味や用法を理解する。	説話				動詞・助動詞の意味や用法を理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	説話のおもしろさに親しみ、平安期の人々の生き方や考え方などを学ぶ。	教科書				説話のおもしろさに親しみ、平安期の人々の生き方や考え方などを学んでいる。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	動詞・助動詞の意味や用法を理解し、説話のおもしろさに親しもうとしている。	デジタル資料集、インターネット				動詞・助動詞の意味や用法を理解し、説話のおもしろさに親しんでいる。				
	単　元 2　随筆　方丈記	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	9
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。	随筆				文章の内容を構成や展開に即して的確に捉えられている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	無常観について、当時の人々がなぜそのような思想を持つようになったのか、理解する。	教科書				無常観について、当時の人々がなぜそのような思想を持つようになったのか、理解する。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	無常観について調べ、自ら学習しようとしている。	デジタル資料集、インターネット				無常観について調べ、自ら学習している。				
	定期考査（第１学期中間考査）/返却と解説									
	単　元 3　随筆　徒然草	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	9
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。	随筆				文章の内容を構成や展開に即して的確に捉えられている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	隠者について調べ、その思想や生き方を想像する。	教科書				隠者について調べ、その思想や生き方を想像している。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	隠者について調べ、自ら学習しようとしている。	デジタル資料集、インターネット				隠者について調べ、自ら学習している。				
	単　元 4　故事・寓話　歴代名画記	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	9
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	漢文を読むために必要な訓読のきまりについて、理解する。	故事・寓話				漢文を読むために必要な訓読のきまりについて、理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	文章の構成や展開のしかたを的確に捉え、内容への理解を深める。	教科書				文章の構成や展開のしかたを的確に捉え、内容への理解を深めている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について、理解を深める中で、自ら学習しようとしている。	デジタル資料集、インターネット				古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について、理解を深める中で、自ら学習している。				
	定期考査（第１学期期末考査）/返却と解説									

令和 6 年度　年間授業計画　教科 国語　科目 古典

教　科：国語　科　目：古典　単位数：3 単位

対象学年組：第 2 学年

教科担当者：	A組	赤塚　翔	B組	深水　美賀子	C組	小曽根　豪	D組	赤塚　翔	E組	深水　美賀子	F組	小曽根　豪	G組	小曽根　豪
使用教科書：	高等学校 精選 古典探究（第一学習社）													

教科　国語　の目標：

【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について，その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め，思考力や想像力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに，言語感覚を磨き，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目　古典　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	領域 書	領域 読	評価規準	知	思	態	配当時数
2学期	単元 5　物語　源氏物語	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	9
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	平安時代の語彙、最高敬語や補助動詞の敬語について理解する。	物語				平安時代の語彙、最高敬語や補助動詞の敬語について理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	物語における出来事の展開や作中人物の心情を捉え、物語のおもしろさや表現の特色を読み味わう。	教科書				物語における出来事の展開や作中人物の心情を捉え、物語のおもしろさや表現の特色を読み味わっている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	作中人物の心情を捉え、物語のおもしろさや表現の特色を読み味わう中で、自ら学習しようとしている。	デジタル資料集、インターネット				作中人物の心情を捉え、物語のおもしろさや表現の特色を読み味わう中で、自ら学習している。				
	単元 6　詩　竹里館・春夜	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	9
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	絶句や律詩に用いられている言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解する。	詩				絶句や律詩に用いられている言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	描かれている心情や境遇などを考えながら、漢詩を読み味わう。	教科書				描かれている心情や境遇などを考えながら、漢詩を読み味わっている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	漢詩に表れている言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深め、自ら学習しようとしている。	デジタル資料集、インターネット				漢詩に表れている言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深め、自ら学習している。				
	定期考査（第２学期中間考査）/返却と解説									
	単元 7　物語　更級日記	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	9
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	平安時代の語彙、最高敬語や補助動詞の敬語について理解する。	物語				平安時代の語彙、最高敬語や補助動詞の敬語について理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	日記における作者の心情を捉え、表現の特色を読み味わう。	教科書				日記における作者の心情を捉え、表現の特色を読み味わっている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	日記における作者の心情を捉え、表現の特色を読み味わう中で、自ら学習しようとしている。	デジタル資料集、インターネット				日記における作者の心情を捉え、表現の特色を読み味わう中で、自ら学習している。				
	単元 8　文　漁父辞	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	9
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	文章の構成や展開のしかた、文体などの特色を理解する。	文				文章の構成や展開のしかた、文体などの特色を理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	作者の主張や人生観、人間に対する思索について、時代背景を考えながら理解する。	教科書				作者の主張や人生観、人間に対する思索について、時代背景を考えながら理解している。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	進んで古典の文章について、解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げる中で、自ら学習しようとしている。	デジタル資料集、インターネット				進んで古典の文章について、解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げる中で、自ら学習している。				
	定期考査（第２学期期末考査）/返却と解説									

令和 6 年度　年間授業計画　教科 国語　科目 古典

教　科：国語　科　目：古典　単位数：3 単位

対象学年組：第 2 学年

教科担当者：	A組 赤塚　翔	B組 深水　美賀子	C組 小曽根　豪	D組 赤塚　翔	E組 深水　美賀子	F組 小曽根　豪	G組 小曽根　豪
使用教科書：	高等学校 精選 古典探究（第一学習社）						

教科　国語　の目標：

【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について，その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め，思考力や想像力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに，言語感覚を磨き，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目　古典　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	領域 書	領域 読	評価規準	知	思	態	配当時数
3学期	単元 9　史話・史伝　史記	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	9
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	登場人物の言動から、心情・考え方や生き方を的確に読み取り、自分の考えを広げる。	史話・史伝				登場人物の言動から、心情・考え方や生き方を的確に読み取り、自分の考えを広げている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	『史記』の内容の解釈を踏まえて、登場人物の心情と場面を想像して群読する。	教科書				『史記』の内容の解釈を踏まえて、登場人物の心情と場面を想像して群読している。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	修辞などの表現の特色について理解を深め、書き手の考えや目的、意図を捉え、自ら学習しようとしている。	デジタル資料集、インターネット				修辞などの表現の特色について理解を深め、書き手の考えや目的、意図を捉え、自ら学習している。				
	単元 10　物語　大鏡	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	8
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	敬語における敬意の方向を確認しながら、文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。	物語				敬語における敬意の方向を確認しながら、文章の内容を構成や展開に即して的確に捉えている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	歴史物語を読み、史実とは異なる豊かな物語性や生き生きとした人物像を読み取る。	教科書				歴史物語を読み、史実とは異なる豊かな物語性や生き生きとした人物像を読み取っている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	史実とは異なる豊かな物語性や生き生きとした人物像を読み取る中で、自ら学習しようとしている。	デジタル資料集、インターネット				史実とは異なる豊かな物語性や生き生きとした人物像を読み取る中で、自ら学習している。				
	単元 11　和歌　万葉集・古今和歌集・新古今和歌集	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	8
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	短詩形文芸の美の世界を味わう。	和歌				短詩形文芸の美の世界を味わっている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	短詩形文芸の修辞技巧や表現のおもしろさを理解する。	教科書				短詩形文芸の修辞技巧や表現のおもしろさを理解している。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	短詩形文芸の美の世界を味わう中で、自ら学習しようとしている。	デジタル資料集、インターネット				短詩形文芸の美の世界を味わう中で、自ら学習している。				
	単元 12　近世の文学　雨月物語	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	8
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	近世の代表的な文学作品を読み、近世文学を理解する。	近世の文学				近世の代表的な文学作品を読み、近世文学を理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	近世の言葉遣いや文法に留意しながら、文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。	教科書				近世の言葉遣いや文法に留意しながら、文章の内容を構成や展開に即して的確に捉えている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	近世の言葉遣いや文法に留意しながら、自ら学習しようとしている。	デジタル資料集、インターネット				近世の言葉遣いや文法に留意しながら、自ら学習している。				
	定期考査（学年末考査）/返却と解説									